



データベースの使い方

データベースとは特定の分野の情報を収集・整理して、パソコンなどで検索できるようにしたものです。

白百合女子大学図書館では、さまざまなデータベースを契約しており、用途・目的に合わせて使うことができます。

データベースを使いこなせると、簡単に効率よく資料を集められます！



よく使われるデータベース

学部・学科を問わずよく使われるデータベースをご紹介します。

※下記以外にも、利用できるデータベースが多数あります。詳しくは別紙「データベースのご紹介」をご覧ください。



①JapanKnowledge

JapanKnowledge Lib

辞書を引く

70種類以上の辞典類を検索できる辞書・事典データベースです。『ランダムハウス英和大辞典』『ロベール仏和大辞典』といった語学系の辞書や、百科事典などを利用できます。

また、電子ブックも収録されており、『新編 日本古典文学全集』（小学館）や『明治文学全集』（筑摩書房）を読むことができます。

②雑誌・論文検索データベース

CiNii Research

論文を探す

論文など研究活動に関わる多くの情報を検索できる学術情報検索データベースです。電子図書館経由で利用することで、本学の蔵書も簡単に検索できます。詳しい利用方法は資料探しガイド「CiNii Researchで論文を探す方法」も参考にしてください。

MagazinePlus

国内の雑誌記事を探す

日本最大規模の雑誌・論文検索データベースです。明治期から現代までの一般誌、専門誌、紀要などの国内雑誌記事の情報を検索できます。

③新聞データベース

朝日新聞クロスサーチ

朝日新聞を読む

1879年の創刊号から現在までの朝日新聞の記事・広告を検索・閲覧することができます。朝日新聞デジタルや、雑誌「AERA」「週刊朝日」の記事も収録されています。



読売新聞を読む

1874年の創刊号から現在までの読売新聞の記事・広告を検索・閲覧することができます。英字新聞「The Japan News」の記事も収録されています。

日経テレコン

日本経済新聞を読む／企業情報を調べる

過去30年分の日経各紙の新聞記事や、国内外の企業情報を検索・閲覧できます。就職活動の企業分析にも役立ちます。

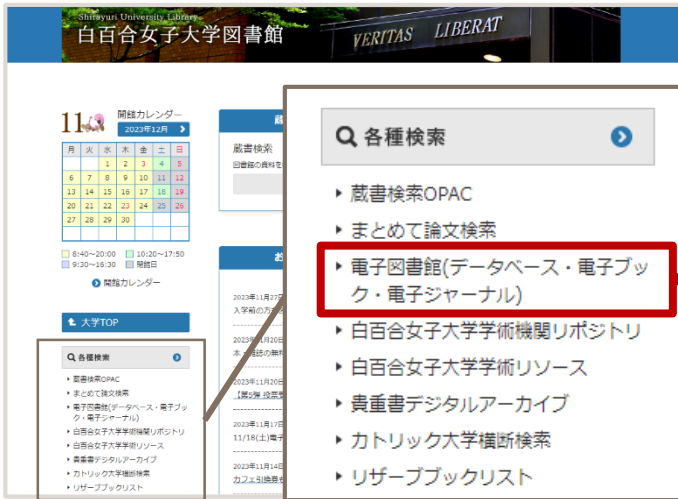
the japan times

英字新聞を読む

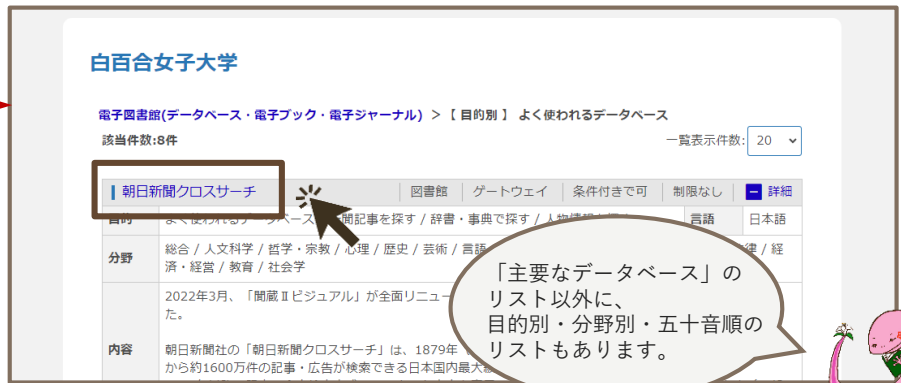
The Japan Timesの1997年から現在までの記事を検索・閲覧できます。

データベースの接続方法

①図書館ホームページメニューから「電子図書館」を選択



②データベースリストを表示させ、使いたいデータベースをクリック



「よく使われるデータベース」で紹介したデータベースのほとんどは「主要なデータベース」リストに掲載されていますが、一部の新聞データベースは掲載されていません。新聞データベースにアクセスするときは、「電子図書館」内の「目的別リスト」から「新聞記事を探す」をクリックし、リストを表示させます。



③MyOPACにログインする



MyOPACへは、**Campus Squareと同じID・パスワード**でログインすることができます。ログインすると、②で選択したデータベースに接続されます。

MyOPACからもデータベースに接続できます

MyOPACにログインすると、トップページに「電子図書館」という項目が表示されます。ここからデータベースのリストを表示させ、使いたいデータベースをクリックしても接続することができます。

